

北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会

委員一覧（20名）

委員長	山谷 えり子（自民）	井上 義行（自民）	柳田 稔（民進）
理事	北村 経夫（自民）	衛藤 晟一（自民）	石川 博崇（公明）
理事	滝沢 求（自民）	島村 大（自民）	武田 良介（共産）
理事	大野 元裕（民進）	塚田 一郎（自民）	高木 かおり（維新）
理事	山本 香苗（公明）	山崎 正昭（自民）	有田 芳生（立憲）
	青山 繁晴（自民）	川合 孝典（民進）	藤末 健三（国声）
	赤池 誠章（自民）	白 貞勲（民進）	(30. 1. 22 現在)

（1）審議概観

第196回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査〕

第195回国会閉会後の平成29年12月21日、北朝鮮による拉致問題等に関しての対策樹立について、参考人として、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表飯塚繁雄君、横田早紀江君及び斉藤文代君を招致し、意見を聴いた後、質疑を行った。

安倍内閣総理大臣は、第196回国会の施政方針演説において、北朝鮮に、完全、検証可能かつ不可逆的な方法で核・ミサイル計画を放棄させ、そして、引き続き最重要課題である拉致問題を解決すると

の決意を表明した。

平成30年4月9日、北朝鮮をめぐる最近の状況について河野外務大臣から、拉致問題をめぐる現状について加藤国務大臣からそれぞれ説明を聴いた。

4月17日及び18日の日米首脳会談において、安倍内閣総理大臣はトランプ大統領に対し、来る米朝首脳会談において拉致問題を取り上げるよう要請した。

6月4日、米朝首脳会談（6月12日）に向けた政府の認識、拉致問題への取組、拉致問題解決に向けた国際的連携、拉致の可能性を排除できない事案への取組、日朝間におけるストックホルム合意等について質疑を行った。

（2）委員会経過

○平成29年12月21日（木）（第195回国会閉会後 第1回）

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 北朝鮮による拉致問題等に関しての対策樹立に関する件について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表
飯塚繁雄君

横田早紀江君

斉藤文代君

〔質疑者〕

井上義行君（自民）、有田芳生君（民進）、石川博崇君（公明）、武田良介君（共産）、高木かおり君（維新）、中山恭子君（希党）、伊波洋一君（沖縄）

○平成30年1月22日（月）（第1回）

○特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○平成30年4月9日(月) (第2回)

○北朝鮮をめぐる最近の状況に関する件について河野外務大臣から説明を聴き、拉致問題をめぐる現状に関する件について加藤国務大臣から説明を聴いた。

○平成30年6月4日(月) (第3回)

○政府参考人の出席を求めることを決定した。
○米朝首脳会談に関する件、拉致問題への取組に関する件、拉致問題解決に向けた国際的連携に関する件、拉致の可能性を排除できない事案への取組に関する件、日朝間におけるストックホルム合意に関する件等について河野外務大臣、加藤国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

赤池誠章君(自民)、石川博崇君(公明)、
川合孝典君(民主)、有田芳生君(立憲)、
武田良介君(共産)、高木かおり君(維新)、
葉師寺みちよ君(無ク)

○平成30年7月20日(金) (第4回)

○北朝鮮による拉致問題等に関しての対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
○閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。